

令和8年度 学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加をめざし、小中高一貫した、系統性のある教育課程の編成と、児童生徒の身につけた力を明確にした授業づくりを進める。	<p>①教科の「身につけた力一覧」「教育内容一覧」等を効果的に活用し、また校内研究を学部ごとに行うことで、授業づくり、授業改善につなげる。</p> <p>②児童・生徒ができるようになったことを、児童・生徒に実感させ主体的な学びにつなげる。</p>	<p>①研究日等を活用し、「教育内容一覧」を見直しながら学部間のつながりも確認する。教科等年間授業計画に活かし、学習内容に偏りがいないか等の視点でもみることで、児童生徒にとって必要な学びを整理する。</p> <p>①学年ごとに具体的なサブテーマを定め、対象の児童生徒または集団を設定してアセスメントを行い指導の改善を図る。</p> <p>②キャリア・パスポートの効果的な活用について共有する。</p>	<p>①既存の「教育内容一覧」のブラッシュアップをしながら、学びの積み重ねが見える授業改善をすることができたか</p> <p>①指導の前後のアセスメント結果から、指導改善の成果が確認できたか。</p> <p>②キャリア・パスポートの効果的な活用について共有することができたか。</p>
2	児童生徒 指導支援	児童・生徒の教育的ニーズに基づき、多角的な視点からアセスメントを行い、個に応じた力の育成を図るとともに、組織的、効果的な支援を行っていく。	<p>①アセスメントシートの活用及び行動観察、ケース会等により、多面的、具体的な支援、指導を行う。</p> <p>②教育相談チームを中心に教材の共有化を図る。より個々の実態に即した教材開発を進める。</p>	<p>①小中学部については、心理職作成のアセスメントシートの改訂版を作成し実施する。</p> <p>②掲示板を活用するなどして共有教材の貸出システムの周知・定着を図る。ケース会等に専門職が積極的に関わることにより、専門職の視点も交えてより子どもたちの実態に合った教材開発を進められるようにする。</p>	<p>①改訂したアセスメントシートを活用し、具体的な支援につなげることができたか。</p> <p>②共有教材の貸出システムの周知・定着を図ることができたか。専門職の視点を交えて、子どもたちの実態に合った教材開発を進めることができたか。</p>
3	進路 指導支援	児童生徒が地域社会で豊かに生きる力を育むために、鶴見のキャリア教育目標を踏まえ、ライフキャリア、ワークキャリア両面での系統的なキャリア教育の充実を図る。	①進路学習会等の実施と評価の具体化、教員間での共有を図り、支援、指導へつなげていく。	①参加人数、感想等を記載し評価を具体化する。保護者対象の学習会の内容を、資料の閲覧や映像記録の視聴等を通じて、教員間でも共有できるようにする。	①保護者対象の学習会の内容を、教員間でも共有することができたか。
4	地域等 との協働	児童・生徒の学びの場をより地域に広げ、また地域への情報発信を行うことで、障害のある児童・生徒の理解を進める。地域と連携した教育活動を推進し、共生社会の実現	<p>①センター的機能の一環として校内外の教材・教具について、情報収集と共有を行い、特別支援教育へのいっそうの理解を図る。</p> <p>②学部間、また、地域</p>	<p>①巡回相談時に、ニーズの把握やHPの情報周知を行う。あわせて参考になる支援級の取組について資料を集め、他の支援級に紹介できるようにしていく。</p> <p>②ボランティア交流会な</p>	<p>①ニーズを把握しHP等で情報周知を行うことができたか。校内外の取組について、情報収集と共有をすることができたか。</p> <p>②ボランティアとのより密</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
		を目指していく。	との交流による学校理解の促進、地域資源を教育活動に活かす。ボランティアとの連携を安全で安心な教育活動の充実につなげる。	どボランティアの意見交換の場を設けることを通じて、ボランティアのスキルアップを図る。	な連携により、安全で安心な教育活動につなげることができたか。
5	学校管理 学校運営	安全安心な学校づくりのため、良好な教育環境の整備と、危機管理体制の確立を図り、地域に信頼される学校づくりに取り組む。教員の教育力、専門性の向上、不祥事の防止を図ると共に、効率的な業務遂行と働き方改革を推進する。	①地域との連携協力、情報共有により、地域防災、校内での防災教育を促進する。 ②働き方改革促進に向け、学校運営協議会との連携により、具体的な改善を図っていく。	①地域の支援を活用しながら、防災宿泊訓練の実施に必要な知識を校内で共有し、実施計画を作成する中で防災意識を向上させる。 ②業務時間の確保を目的として、学校全体で取り組んでいく。	①防災宿泊に関する知識を校内で共有し、地域の支援を活用した実現可能な実施計画を作成することができたか。 ②確保できる業務時間を具体的に示したり、学校全体で共有したりしながら改善に向けて取り組むことができたか。